

アグラ上水道整備計画（II）【インド】

施策所管局課 国別開発協力第二課

評価年月日 令和6年4月

1 案件概要	
（１）供与国名	インド共和国
（２）案件名	アグラ上水道整備計画（II）
（３）目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	2006 年度に円借款が供与された「アグラ上水道整備計画」に対し、資機材価格の高騰等を理由とする事業費の増加に対処するため、追加的に円借款を供与し、インド北部ウッタール・プラデシュ州において、ガンジス川上流を水源とする灌漑水路からアグラ市とその周辺地域への導水施設の建設、アグラ市の既存の上水道施設の改修・拡張等により、安全かつ安定的な上水道サービスの提供を図り、もって同地域の貧困層を含む住民の生活環境の改善に寄与するものである。 案件の内容 ・ 上水道施設（取水施設・沈砂池・導水管）の建設、導水管敷設用道路の整備、アグラ市の浄水場の改修及び拡張、配水網の改修及び拡張 ・ 住民への啓発活動、貧困層戸別接続支援 ・ コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成 26 年 3 月 28 日 イ 供与限度額：162.79 億円 ウ 金利：1.40%（コンサルティング・サービスについては 0.01%） エ 償還（据置）期間：30 年（10 年） オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
（１）経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初、国内でも有数の観光地であるウッタール・プラデシュ州アグラ市と周辺地域では急激な人口増加（1981 年 75 万人から 2011 年は 157 万人）に伴い給水量の増加が求められていたが、給水源であるヤムナ川は、上流に位置する大都市からの未処理水流入による水質汚濁が問題となっていた。その浄化に必要な多量の塩

	素の使用は浄化コストの高騰及び健康面への影響懸念があることにより飲料水としての利用が避けられる傾向があるため、新規水源開発が求められていた。 現在においてもアグラ市の人口は増加傾向にありそれに伴う上水需要の増加により供給量のひっ迫は継続して発生していることから、現在も本事業に関する社会的ニーズがある。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 コロナ禍以前においては、主に導水管敷設パッケージの入札に係る係争、樹木伐採に係る係争及び樹木伐採許可関連法令の改定に伴う用地取得手続き、また、豪雨による工事遅延等の複合的要因により事業遅延が生じた。また、コロナ禍発生以降においては、インド全土で複数回のロックダウン規制が敷かれたことによる工事中断や、配水網改修パッケージにおいて一社応札による入札取り消し等が生じたことにより、更なる事業遅延が発生した。 現在、土木工事については、約 95%が完了済み、浄水場については既に稼働を開始しており、残す一部施設（ポンプ場・配管等）の建設工事が完了すれば完工となる。並行して進展中の住民への啓発活動及び貧困層戸別接続支援を含め、2026 年 3 月までに事業完了予定。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれる。また、事業の進捗を妨げていた要因は解決していることから、引き続き支援を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 政策評価法に基づく事前評価書 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出された資料